

別表第 1(第 3 条関係)

行為の種類	図書		
	種類	明示すべき事項	備考
共通	付近見取図 (縮尺1/2500程度)	当該行為を行う土地の区域及びその周辺(当該区域から半径約250m)の状況を表示する図面 ^{※1} で、次の各項目がわかるもの。 ①方位 ②縮尺 ③当該区域の位置 ④道路・公園等の公共施設 ⑤目標となる地物 ⑥周辺の景観資源 ^{※2}	※1:住宅地図も可 ※2:景観計画第2章に掲載する景観資源を参考にプロットする。
	付近現況説明資料	①2方向以上から行為の場所を撮影したもの ②行為の場所周辺を含めて撮影したもの ③現況写真の撮影位置及び撮影方向がわかる図面	
	敷地内現況図	当該行為を行う土地の区域の現在の状況を示す図面で、建築物、工作物、緑地、歴史及び文化的な価値を持つ史跡等を明示したもの	
	眺望状況説明図	当該行為を行う土地の区域の周辺(当該区域から半径約2.5k m)を示す図面で、周辺の主要な眺望点からの当該区域の見え方等の眺望景観の状況を明示したもの	
	平面図	当該行為を行う土地の区域内の利用に関する計画を示す図面で、行為の位置、ごみ置き場、緑地、外構等を明示したもの ラフ図可	
	各面立面図	ラフ図可	屋根の形状がわかるようにすること。
	工程表	工事完了までのスケジュール	
	その他市長が必要と認める図書		